

生活科学科3年担任の徳平先生が兵庫県優秀教員の表彰を受けました。本来なら表彰式があり、代表挨拶もされる予定でしたが、

緊急事態宣言発出により表彰式が中止となり、校長室での授与となりました。昨年度兵庫県で行われた全国高等学校家庭クラブ研究発表大会事務局長として尽力いただいただけでなく大会運営にかかる家庭クラブ員である生徒や家庭科教員を組織立てて研究発表大会を成功に導いたことと家庭科教育推進に寄与されたことが認められての受賞です。本当におめでとうございます。

2月26日には卒業式前日ということで、3年生が登校してきました。式典の流れを理解し、予行演習を行いました。

さらには、表彰式、賞状伝達、同窓会入会式も行いました。大島PTA会長同窓会副会長の藤原様、黒石様、林様に来ていただき、見守っていただきました。例年とは違い、間隔を取るだけでなく、前後も重ならないような配置にしました。皆勤賞48名、体育科、生活科学科の全国及び県表彰に続いて部活動振興会長賞として大島PTA会長から54名の部活動で活躍した生徒に賞が贈られました。同窓会入会式では、藤原副会長が藤本会長の入会のお祝いを代読され、3年大島さんの入会誓約と辻田さんの記念品受領があり、厳かな中に入会式を終えることができました。その後私は、4名の皆さんと校長室で話をさせていただきました。大島PTA会長は生徒たちを見る目が温かく、とても感慨深げでした。3名の副会長の皆さんは社高校愛が溢れ出て、卒業生を温かく見守っていただいているのがよく伝わってきました。お忙しい中ありがとうございました。

体育館1階には右の写真のモザイクアートが展示されていますが、これは3年生の生徒会を中心に、本校が主催となり北播磨の良いところの写真を集め文字の周りに飾り付けて制作したもので3月の加東市制15周年記念式典後は市役所に展示される予定のものです。昨年末から写真を集め、自分たちでも加東市内の風景を写真に収め苦勞して出来上がったものです。(本校の生徒の写真も多かったのですが…)短期間でよくここまで仕上げたと思います。お疲れ様でした。

そして広報誌 minoriには「みらいスターを応援！社高生考案」に今月は眞鍋彩佳さんの「春のスタミナ押し寿司」が掲載(写真左)。AREA REPOのページにはJAみのりと共同で商品開発を進めてきた「黒田庄和牛ぎゅぎゅっとミートソース」が完成を迎え、3月21日から2日間限定で加古川ヤマトヤシキで開かれる物産展での販売を皮切りに順次商品化されるとの記事が掲載(写真右)。昨年のカレーに続いてのコラボ商品です。生活科学科の生徒たち頑張りました。

2月27日は第73回卒業証書授与式です。3年生にとっては卒業と同時に新しいステージに向けての出発点となります。保護者の方々にも見守っていただき、厳粛な中、式は執り行われました。来賓として兵庫県議会議員で本校同窓会会長の藤本様、PTA会長大島様、昨年まで副主任をいただいた浅田順子先生をお招きしました。本来ならば多くの中学校へもお声掛けをさせていただくのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から控えさせていただきました。申し訳ありませんでした。肅々と式は進み、各科の代表に卒業証書を授与、私の式辞では、1年の振り返りとともに卒業生の思いを汲み取って一緒に行事を作ってきたことを紹介し、私が影響を受けた校長先生の「タンポポは 落ちたところで 花ひらく」という言葉を送らせていただきました。うまいかないことが多い中、自分の思った通りに進めるチャンスや自分の力を開花させるチャンスが来た



とぎのために根をしっかりと伸ばし、自分を磨くことで花を咲かせようということです。タンポポの種はどこに落ちるかわかりません。落ちたところで根を張り、花を咲かせます。不安な時、思った通りに進まない時、そのことをしっかりと受け入れ、根を張ることを考え、花を咲かせようとするのは私たちの生活でも大切なことだと思います。今をしっかりと生きる、頑張ることで未来を切り開いてほしいとの思いでこの言葉を贈りました。今年1年は制限のかかる中ではありましたが、みんなで知恵を出し合ったこと、最後まで頑張りぬいたことを胸に刻んでこれからの人生を生きてください。大島PTA会長の祝辞では、涙ながらに一つひとつの言葉をかみしめながら話された内容に胸が熱くなりました。答辞では、生徒会長の上月君が1年生からの振り返りを話しながら各科の内容を盛り込んで、先生方

や保護者への感謝の気持ちを伝えてくれました。今年は国歌、蛍の光、校歌と歌詞入りの演奏を



流しただけでしたが、校歌はさすがにマスク越しに歌っている卒業生も多かったのか歌声を聞き取ることができ厳粛な式を盛り上げてくれました。3年生の皆さん、卒業おめでとう。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で発出された緊急事態宣言も今月末で限定解除されることになりました。ワクチン接種も始まりましたが、ここからが大事です。大きな生活様式の変更はありませんし、部活動の練習試合等もまだできません。しかしながら前へ進んでいることは事実です。感染防止の意識は高めたままで日常の生活を取り戻すべく積極的な働きかけもしていきたいと思います。今年1年「できない」と思わずにどうやったら「できる」かを考えてきました。臨時休業から1年。さらに工夫して良いものを作り出していけるように知恵を出し合っていきましょう。よろしくお願ひします。

さて、学年末考査、卒業式の準備とともに3月の複数志願選抜の願書受付が終了しました。普通科は定員が136名に対して154名の願書が出され、生活科学科は20名の定員に対して14名の願書が出されました。3月1日からの志願変更を経て受検者数が確定します。受検生の皆さん、体調に気を付けて最後まで頑張ってください。

いよいよ2月が終わり、3月に入ります。1、2年生は3年生を送り出し、次のステージに上がっていきます。心の準備は良いですか？準備が整っていない人は、3月中に準備を進め、次の学年で何をすべきか、どんな自覚を持たねばならないかしっかり考えておきましょう。春はそこまで来ています…。